

I T型デマンド乗合タクシーの概要

(1) 導入の背景

- 旧小高町では、移動手段確保の一番の目的は、町中心部の商店街の活性化
- 排気量が大きく維持管理に経費のかかる町営バスの運行よりも、経費の少ないタクシー車両でこまめに送迎する方が運行経費は安く、小型車両ならではのドア・ツー・ドアサービスが実施でき、利用者の満足度も高いことから、旧小高町で導入が決められた

(2) システムの概要

<利用方法と運行のイメージ>

- ① 利用者は電話で予約します。
- ② オペレータが予約を受け付けます。
- ③ 複数の予約をとりまとめて、送迎する車を決めます。
- ④ 迎えに行く場所と送る場所を確認し、送迎の順番を決め、配車します。



(3) I Tシステムの特徴

- デマンド交通に合わせたインターフェースが構築されており、多くの情報を正確に迅速に処理することができる
- 登録者については、登録情報に基づき年齢別・性別利用状況、乗降場所等のデータが自動的に蓄積され、加工によりマーケティング等への活用が可能
- I Tシステムを導入しない場合と比較すると、以下の部分でコストがかかる
 - ・ 導入費（ハードウェア、ソフトウェア、設計開発、機器設置、オペレータ・運転手研修費）
 - ・ 運営費（通信費）
 - ・ 維持管理費（保守費、更新費）